

一胃カメラ（経鼻・経口内視鏡）の説明・同意書一

[目的]

内視鏡を用いて食道・胃・十二指腸を観察し、逆流性食道炎、胃炎や胃十二指腸潰瘍、ヘリコバクター・ピロリ菌感染症、ポリープや悪性腫瘍などの治療が必要な病気がないか調べます。

[前処置や検査方法]

- ① 胃内の泡や粘液を取り除くために、消泡剤を飲みます。
- ② 経鼻内視鏡の場合：仰向けに寝て、両鼻腔に血管収縮薬のスプレーとゼリー状の麻酔薬の注入をします。その後、麻酔薬の塗ったやわらかいチューブを鼻腔に挿入し、内視鏡スコープの通りを確認します。喉に麻酔薬のスプレーをし、通りのよい方の鼻腔から内視鏡スコープを挿入します。ただし、両鼻腔が狭く挿入できない場合には口腔から内視鏡スコープを挿入します。
- ③ 経口内視鏡の場合：座っている状態で喉にゼリー状の麻酔薬をふくんでもらいます。その後スプレー状の麻酔薬を追加します。
- ③ 検査時間は10分程度で、希望があれば検査前に鎮静剤を投与します。
- ④ 必要があれば、病理組織の検査（生検）をして確定診断を付けます。また、ピロリ菌の存在が疑われる場合には、血液検査でピロリ菌の有無を確認します。

[偶発症]

- ① 前処置の薬剤（キシロカインなど）による副作用
 - ② 鎮静剤や拮抗薬による副作用
 - ③ 内視鏡による粘膜損傷（出血や穿孔）や生検後の出血
- 検査に伴う偶発症を発生する危険性があります。日本消化器内視鏡学会での報告は、全体の発生頻度は0.02%程度です。

[事前検査]

感染症（B型・C型肝炎、梅毒）の有無を採血で確認します。

[注意事項]

- 検査12時間前からは絶食ですが、飲水（お水やお茶など）の制限はありません。
- 常用薬は前日の就寝前まではいつも通り内服してください。また、当日は検査3時間前までに内服してください。
- 抗凝固薬や抗血小板作用薬、糖尿病薬などを服用している方は、指示通りの内服や休薬方法を守ってください。
- 検査や検査で用いた薬剤により一時的に体調に負担が生じる可能性があり、検査当日は車やバイク、自転車での来院は控えてください。
- 喉に麻酔をしており誤嚥する可能性がありますので、検査後1時間程度の飲食を控えてください。また、生検した当日の運動や飲酒は控えてください。
- 検査日の予約を変更する際は、Web予約からではなく当院に電話連絡をお願いします。

[胃カメラ同意書]

私は、目的や方法・偶発症の説明を受けて理解した上で、検査を受けることに同意します。

_____年____月____日

患者氏名： _____

緊急連絡先： 氏名 _____ (続柄 _____) _____ - _____